

整形外科人工関節全置換術を受けられた患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究は、過去の診療データ（カルテ情報など）を基に実施される「後ろ向きコホート研究」であり、患者様に新たな検査や費用の負担、健康へのリスクが生じるものではありません。

倫理審査承認番号	26-4
研究課題名	人工関節全置換術後における胆道合併症予防のための、術前超音波スクリーニングおよび選択的胆嚢摘出術の有用性に関する後ろ向きコホート研究
所属	診療部 外科
研究責任者（職名）	永野秀樹（外科医長）
研究実施期間	2026年6月1日～2026年8月31日
研究の背景、目的	人工関節全置換術をはじめとする手術の周術期管理において、術後の重篤な合併症を予防することは極めて重要です。特に術後の胆道合併症（急性胆嚢炎など）は、発症すると全身状態の悪化や在院日数の長期化に繋がることが知られています。本研究は、人工関節全置換術を予定される患者様に対して術前に腹部超音波スクリーニングを行い、リスクの高い症例に対して選択的胆嚢摘出術を施行するプロトコルの有用性を検証することを目的としています。
対象となる方	以下の期間に人工関節全置換術を受けられた患者様 ・歴史的対照群（スクリーニング導入前）：【2018年1月1日】～【2019年12月31日】までに手術を受けられた920例の患者様 ・介入群（スクリーニング導入後）：【2020年1月1日】～【2023年3月31日】までに手術を受けられた1,581例の患者様
利用する診療記録	・患者背景（年齢、性別、既往歴、原疾患など） ・術前検査データ（血液検査結果、腹部超音波検査による胆石・胆嚢の所見など） ・手術に関する情報（手術時間、出血量など） ・術後経過（胆道合併症の有無、発症時期、治療内容、在院日数など）
研究方法	介入を行った患者群と、過去に同様の手術を受けられた患者群を比較・解析することで、周術期管理における本アプローチの有効性と安全性を明らかにします。
個人情報の管理	本研究で使用するデータからは、患者様のお名前やカルテ番号などの

	個人を特定できる情報はすべて削除され、別の符号に置き換えた上で厳重に管理されます。学会や学術雑誌（論文）などで成果を発表する際も、個人が特定される情報は一切含まれません。
問い合わせ先	丸の内病院 事務部総務課 電話番号：0263-28-3001 平日 9:00~17:00

本研究への協力を希望されない（ご自身のデータを使用してほしくない）場合は、2026年8月31日までに以下の問い合わせ先までお申し出ください。ご連絡をいただいた時点で、該当するデータを研究対象から除外いたします。なお、解析が進んだ後や論文発表後など、時期によってはデータの一部を除外できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

協力を拒否された場合でも、今後の診療において不利益を被ることは一切ありません。